

2023 全日本 ARDF 競技大会の報告

報告者 JA9MIW

10月22日(日)、全日本ARDF競技大会は2019年以來4年ぶり、東北地方では20年ぶりの開催で、競技は宮城県白石市の花山青少年自然の家南蔵王野営場を中心として、144MHz競技部門1種目がおこなわれ、北陸からは3名の選手が参加しました。

大会当日の天候は、それまで暖かい日が続いていたのと打って変わって、宮城と山形両県にまたがる蔵王連峰で初冠雪が平年より6日早く観測したとのこと、会場奥の蔵王連峰では紅葉と初冠雪という素晴らしい景色が広がるなか、100名近くの選手は元気良くスタートしました。

スタート地点の山乃小屋チャリーから南蔵王野営場への走路は、距離が約1.5kmあり標高差約90mという厳しい坂道から始まり、TX2の設定が一番の難所で、スタート地点から200mの標高差というところにあり、一旦、沢まで下り再び約80mを一気に登るといった厳しい設定、まるで登山のようでした。



北陸選手の入賞者

【W21クラス】	1位 JA9-3192	川井麻矢	福井県
【M70クラス】	3位 JA9MIW	平田 清	富山県

上: 競技用地図 (TX の位置) 下: スタート前の集合写真

